

2018年8月7日

報道関係各位

ラサール不動産投資顧問株式会社

首都圏大消費地に近接する物流適地にて マルチテナント型物流施設「(仮称)新守谷物流センター」着工

ラサール不動産投資顧問株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 キース藤井、以下「ラサール不動産投資顧問」)は、茨城県つくばみらい市においてマルチテナント型物流施設「(仮称)新守谷物流センター」の地鎮祭を本日8月7日に挙行了ことをお知らせいたします。尚、着工は9月1日、竣工は2019年8月9日を予定しております。

当施設は2階建て、延床面積38,931㎡のマルチテナント型物流施設です。1階は両面バースを備え、梁下有効高7.1m、床荷重を2t/㎡確保しており、多様なテナントニーズに応えることが可能です。首都圏の大消費地を目前に控え(東京都心から50km圏内)、最寄りの常磐自動車道「谷和原IC」まで約2km、常磐自動車道を経由し、主要環状道路である国道16号線へも約10kmと、首都圏広域への配送が可能な立地です。本物件の周辺には住宅エリアが広がっており、また一般車171台の収容が可能な駐車場を設置予定であることから、雇用確保に有利な立地でもあります。防災面では24時間対応の非常用発電機を設置する等、災害時のBCPを配慮した施設計画を予定しています。



【外観パース】 ※上記は完成イメージです

ラサール不動産投資顧問の執行役員 アセットマネジメント リージョナル ディレクター、ジャパン 永井まりは「本物件は、首都圏の巨大消費地へのアクセスの優位性と、雇用確保における通勤アクセスの優位性を活かし、物流効率化に大きく貢献し得る高機能な施設です。各企業による物流効率化の過程で、交通利便性に優れたエリアに立地する近代的な物流施設へのニーズが高まっており、増加する物流需要を不動産の面から支えることは、マーケットの発展に寄与すると考えています。ラサール不動産投資顧問は、今後も各企業の戦略的物流拠点となる適地を見定め、テナント企業活動のニーズに柔軟に応える物流施設開発を積極的に進めて参ります」と述べています。

【地鎮祭の写真】



ラサール不動産投資顧問株式会社 執行役員
アセットマネジメント 永井まり

【施設概要】

所在地	地	茨城県つくばみらい市筒戸字馬場 1114-30
敷地面積	積	34,226.81 m ² (10,353.61 坪)
延床面積	積	38,931.40 m ² (11,776.74 坪)
構造	造	鉄骨造、地上 2 階建
基本設計・設計監理監修	株	株式会社日立建設設計
基本計画・構造実施設計・監理	株	コンストラクションマネージメントジャパン株式会社
設計施工	株	サンエス建設株式会社
施主	主	新守谷プロパティー特定目的会社
用途	途	マルチテナント型物流施設
着工	工	2018 年 9 月 1 日
竣工	工	2019 年 8 月 9 日 (予定)

【周辺地図】



ラサール インベストメント マネージメントは、世界有数の不動産投資顧問会社です。世界規模で、私募、公募の不動産投資活動、負債性投資をしており、総運用資産残高は約 600 億米ドルです(2018 年 3 月末現在)。主要顧客は、世界の公的年金基金、企業年金基金、保険会社、政府関連、企業、その他基金(大学基金他)などで、世界中の機関や個人投資家の資金管理を行い、セパレートアカウント型投資、オープンエンド型ファンド、クローズドエンド型ファンド、公募証券、エンティティレベル投資等の手法で投資を行っています。また、世界最大級の総合不動産サービス企業であるジョーンズ ラング ラサール グループ(ニューヨーク証券取引所上場:JLL)傘下にあります。なお、ラサール不動産投資顧問株式会社は、ラサール インベストメント マネージメントの日本法人です。詳しい情報は、www.lasalle.com をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先

広報担当(エイレックス) 村瀬亜以 電話 03-3560-1289 メール lasalle@arex-corp.com

*このプレスリリースは、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会へ配布しております。